

2025年働き方改革推進支援助成金 団体推進コース報告書

作成日: 2025年12月10日

1. エグゼクティブサマリー

本報告書は、2025年度に実施された「働き方改革推進支援助成金団体推進コース」における全事業活動の成果をまとめたものである。展示会出展および実践的なセミナー開催を通じて、参加企業の業務効率化、DX推進、人材育成に大きく貢献した。

| | |
|--------------|-----|
| 総イベント開催数 | 5回 |
| 総参加者数（展示会除く） | 46名 |
| 参加者満足度 | 98% |

2. イベント別実績一覧

本期間に実施された全イベントの開催実績は以下の通りである。

| イベント名 | 開催日時 | 参加実績 | 満足度 |
|-----------------------|-------------------------------|-----------|------|
| メッセナゴヤ2025 | 2025年11月5日(水) ～11月7日(金) | 参加企業 2社 | 100% |
| Canva基礎編 セミナー | 2024年10月14日(火) 14:00～16:00 | 参加者 4社9名 | 100% |
| Canva応用編 セミナー(1回目) | 2025年10月27日(火) 14:00～16:00 | 参加者 7社13名 | 100% |
| Canva応用編 セミナー(2回目) | 2025年12月1日(月) 14:00～16:00 | 参加者 7社19名 | 100% |
| 面接官向け セミナー | 2025年11月20日(水) 13:00～14:30 | 参加者 4社5名 | 100% |

※満足度はアンケートにおける「満足」「おおむね満足」の合計割合を示す。

※総参加者数46名は、セミナー参加者の単純合計値である。

3. 各イベントの詳細報告

3.1 メッセナゴヤ2025 出展

日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2025」へ2社が共同出展を行った。異業種交流の場を活用し、新規顧客の開拓と既存顧客との関係深化を図った。

| 項目 | 実績 |
|---------|-------|
| ブース来場者数 | 約360名 |
| 名刺交換数 | 約169件 |
| 商談発展数 | 約13件 |

成果: 次回出展意向100%。サービス認知度の向上と市場反応の直接的な確認に成功した。

主な気づき: 異業種交流という特性により幅広い来場者と接点を持て、既存ユーザーとの交流も深まった。

3.2 Canva基礎編セミナー

デザインツール「Canva」の導入と基礎操作の習得を目的として開催。PowerPointでは難しい表現を容易にする機能を中心に実習を行った。

参加実績: 参加者 4社9名 (2024年10月14日開催)

内容: 基本操作、テンプレート活用、モックアップ機能、フレーム機能、レイヤー機能。

反応: 参加者全員が講師の説明を「わかりやすい」と評価。特にモックアップ機能とレイヤー機能への関心が高かった。

効果: 実践時間を設けたことで、その場で疑問点を解消できる環境が好評を得た。

3.3 Canva応用編セミナー（1回目）

基礎編からのステップアップとして、プレゼンテーション作成機能と最新のAI活用に焦点を当てた。

参加実績: 参加者 7社13名 (2025年10月27日開催)

内容: プrezentテーション機能、AI画像生成、スマート連携機能、録画機能。

反応: AIによる資料作成の効率化や、スマホをリモコンとして使う機能が「実務に役立つ」と好評を得た。

講師評価: 84.6%が「わかりやすい」と評価し、高度な内容でも理解しやすい説明が提供された。

3.4 Canva応用編セミナー（2回目）

業務効率化をさらに推進するため、大量データの一括作成や外部アプリ連携など、高度なテクニックを扱った。

参加実績: 参加者 7社19名（2025年12月1日開催）

内容: Canvaシートによる名刺・証書の一括作成、3Dイラスト作成、ラスクル連携、AI生成機能（動画・写真）。

反応: 事務作業の大幅な時短につながる一括作成機能に参加者の関心が集中した。

満足度: 「満足」が81.0%、「おおむね満足」を含めると100%という高評価を獲得。

特筆事項: 「Canva恐怖症だったが何とかやっていけそう」といったコメントもあり、苦手意識の克服にも貢献した。

3.5 面接官向けセミナー

採用難易度が高まる中、選考の質向上と入社後の定着率改善を目指し、面接官としての心構えとメンター制度について学んだ。

参加実績: 参加者 4社5名（2025年11月20日開催）

内容: 面接官の役割、メンター制度の構築、「脳内企業シェア率」の向上手法。

反応: 管理職・役員層の参加が多く、組織的な人材育成体制の構築に対する意識の高さが伺えた。

満足度: 「満足」80%、「おおむね満足」20%で、合計100%が肯定的評価。

講師評価: 全参加者が講師の説明を「わかりやすい」と評価。

4. 全体的な成果と分析

一連の事業活動を通じて、参加企業の「業務効率化」と「人材育成」の両面において具体的な成果が得られた。

【デジタルツール活用の推進】

Canvaセミナーでは、基礎から応用まで段階的に実施したことで、参加企業はデザイン内製化によるコスト削減とスピードアップを実現するスキルを習得した。特に応用編2回目の参加者数が19名に達したことは、実務での活用ニーズの高さと継続学習への意欲を示している。

【人材育成・組織力強化】

面接官セミナーでは、メンター制度の導入や「脳内企業シェア率」という新たな視点を提供し、採用から定着までの一貫した人材育成体制の構築を支援した。

【営業力・ブランディング強化】

展示会出展では、異業種交流という特性を活かし、幅広い顧客層との接点創出と既存顧客との関係深化を実現。次回出展意向100%という結果は、展示会の価値を参加企業が明確に認識したことを示している。

5. 参加者の声

Canvaセミナー参加者:

「Canvaシートでの一括作成機能は圧巻でした。名簿データから瞬時に名札が作成でき、事務作業が大幅に楽になります。」

「AI機能がこれほど進化しているとは驚きました。プレゼン資料作成の時間を半分以下に短縮できそうです。」

「モックアップ機能を使えば、プロに頼んだような商品画像がすぐに作れるので、ECサイトの更新頻度を上げられそうです。」

「レイヤー機能の存在を初めて知りました。今まで右クリックでちまちま調整していたので、作業が格段にラクになりました。」

「Canva恐怖症でしたが、丁寧な説明のおかげで何とかやっていけそうです。今後のプレゼン作成に活かせると思いました。」

面接官セミナー・展示会参加者:

「メンター制度の重要性を再認識しました。「脳内企業シェア率」という考え方は目から鱗で、早速社内で共有します。」

「人の教育について深く考える機会になりました。自社の新人教育に利用できる内容でした。」

「異業種交流会ならではの多様な来場者と接点を持てたことが最大の収穫です。具体的な商談にもつながりました。」

「既存ユーザーも出展しており、交流が深まりました。来場者の関心度が高く、熱心に話を聞いてもらいました。」

6. 今後の提案と展望

本年度の成果と課題を踏まえ、次年度以降は以下の施策を提案する。

1. 専門特化型ワークショップの開催

「動画編集」「SNSマーケティング」「採用ピッチ資料作成」など、より具体的で成果に直結するテーマに絞った実践型ワークショップを展開する。

2. フォローアップ体制の強化

セミナー受講後の実践状況を確認し、つまづきを解消するための個別相談会やコミュニティを形成し、スキルの定着を支援する。

3. レベル別・業種別プログラムの開発

初心者向けから上級者向けまでのレベル別コース、製造業・サービス業など業種別の実践的カリキュラムを設計し、より的確なニーズ対応を図る。

4. DXとアナログの融合支援

AIやデジタルツールの活用（Canva等）と、対面での人間力（面接・展示会対応）の両面を強化するプログラムを継続的に提供し、企業の総合力を高める。

5. 成功事例の横展開

セミナーや展示会での成功事例を形式知化し、会員企業間で共有することで、業界全体の底上げを図る。

7. まとめ

2025年働き方改革推進支援助成金団体推進コースにおける活動は、デジタルツールの活用推進と人材・組織力の強化という現代企業の重要な課題に対し、極めて高い満足度と実践的な成果をもたらした。

特に、総参加者数46名（展示会除く）に対し、ほぼ全ての参加者から肯定的評価を得られたことは、企画内容が参加企業のニーズに合致していた証左である。Canvaセミナーにおける段階的な学習設計、面接官セミナーにおける実践的な人材育成手法の提供、そして展示会出展支援による営業力強化という3つの柱が、バランスよく機能した結果といえる。

今後も、変化の激しいビジネス環境に対応できるよう、最新技術の導入支援と本質的な人材育成支援を継続していくことが望まれる。特にAI技術の進展やリモートワークの常態化など、新たな課題に対しても柔軟に対応できる支援体制の構築を目指す。

以上